

報告日：令和 7 年 8 月 15 日

名 称	令和 7 年度第 1 回 環境審議会		
日 時	令和 7 年 8 月 7 日（木） 1 4 時 0 0 分～1 5 時 0 6 分		
場 所	市役所本庁 2 階 第 2 委員会室		
出 席 者 （敬称略）	【委員】鈴木会長、渡邊副会長、廣田、原、松島、森、神家満、増渕、関谷、櫻井、浜野、高橋、小太刀 【欠席】橋下、神山 【事務局】大場部長、大出課長、渡邊課長、星野係長、上田係長、渡邊係長、長岡係長、和久井担当主査、篠崎、鈴木、高木、奈良部		
内容及び 結果等	1 開会 2 市長挨拶 3 会長挨拶 4 議事 （1） 報告事項 ア 第 5 次鹿沼市環境基本計画の令和 6 年度実績について 資料 1 に基づき説明し、了承を得た。 イ 第 6 次鹿沼市環境基本計画等の策定について 資料 2 に基づき説明し、了承を得た。 ウ 大芦川パトロールGW実施の結果について 資料 3 に基づき説明し、了承を得た。 エ 盛土等規制法の施行に伴う実績報告について 資料 4 に基づき説明し、了承を得た。 ※各事項の質疑等詳細は別紙会議録参考。 （2） その他 次回の審議会の日程について：令和 7 年 1 1 月頃 5 閉会		
配布資料	別紙のとおり		
次回予定	令和 7 年 1 1 月頃を予定		
記 録 者	環境政策係 鈴木克哉		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0 人

令和7年度第1回鹿沼市環境審議会会議記録

委員氏名	鈴木	廣田	原	松島	森	神家満	増渕	関谷	櫻井	浜野	高橋	橋本	小太刀	神山	渡邊
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○

【事務局】

- 事務局……大場部長、大出課長、星野係長、鈴木主任主事、高木主事、奈良部主事
- 環境課……上田係長、和久井担当主査、篠崎主査
- 資源循環課……渡邊課長、渡邊係長、長岡係長

- 1 開 会
- 2 市長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議 事

(1) 報告事項

ア 第5次鹿沼市環境基本計画の令和6年度実績について

事務局：《環境課 高木》

〈資料1に基づき説明〉

〈質疑等〉

【松島委員】 前回報告時から資料の作り方が変わっている。個人的には前回の資料の方が比較しやすかった。また、累計データについて読み解きづらいと感じた。

【事務局】 文字が多く、見づらい印象を受けたので変更した。簡潔な資料にすることで分かりやすくなると考えた。ご指摘の前回資料については当年度のみの実績が記載されているものであった。これを計画当初からの推移を明記して進捗状況を可視化できるようにした。累計データの記載についても含め、資料形式については今後も検討していきたいと思う。

【神家満委員】 1-①-(4)「森林経営計画における新規認定計画面積」について目標設定した経緯は？カーボンニュートラルとは二酸化炭素排出量と森林による吸収量との差し引きをゼロ以下にするという考え方と認識しているが、それと関連するのか。

【事務局】 ご指摘のとおり、二酸化炭素吸収源の確保という観点から目標に設定している。管理面積増加が、実際にどれほど吸収量に寄与するかという点も含め、次期計画においては、適切な指標の検討もしていきたいと考えている。

【増渕委員】 同項目について、計画当初の実績から現在までの推移を見ると20倍ほどの増

加となっており、不自然なほど大幅な増加が見られる。市はどのような基準で認定を行っているのか。

【事務局】森林経営管理計画制度自体が平成 31 年度に開始されたものである。民有林が対象であり、区域計画については 1 件 30ha 以上、属人計画については 1 件 100ha 以上が認定基準である。制度が定着していくにあたり件数が増え、1 件当たりの面積も広大なため大幅な増加に繋がったと考えられる。

森林の経営に関する長期の方針、対象森林の現況、間伐及び主伐の施業履歴、伐採の実施計画等を記載することになっている。適正な管理経営が森林の造林や更新に繋がることから、環境基本計画の指標として用いる価値は一定程度あると認識している。

【増渕委員】1-②-2「電気使用料の削減」について、昨今は地球環境の変化により平均気温が上昇している。猛暑に対応するためにエアコンの使用電力も増えていくと予想される。二酸化炭素排出抑制以上に身の安全が大切であり、そのために電気を使わざるを得ない状況にある。電気使用量の目標が達成できなかったとしても、必ずしも行政や企業の怠慢ではないという点も我々は認識すべきである。

【事務局】これまでの省エネや省資源は我慢することで目標を実現してきた。しかしながら、ご指摘のとおり地球環境の変化よりそれだけでは困難になってきている。社会経済活動と消費電力とのバランスを考慮した電源構成をどのように構築するか、省エネ設備をどのように普及していくのかという議論が必要になってくると思われる。市として経済活動の中でどう役割を果たし支援していくのか脱炭素施策の実現において重要になってくる。財源が限られた中ではあるが、市民や事業者にも周知啓発を行い主導的に取り組んでいきたい。

【浜野委員】資料 1-2「市全体からの温室効果ガス排出量」について、最新版が令和 4 年である。国からの報告とのことだが、具体的に説明願いたい。

【事務局】環境省作成の「地域カルテ」のデータを記載している。このデータを構成する要素は、経済センサスや農業センサス等の統計法に基づく様々な統計データから環境省が積算したものである。国で情報の集約及び分析を行うために相応の期間を要することから令和 4 年データが最新のものとなる。

イ 第 6 次鹿沼市環境基本計画等の策定について

事務局：《環境課 鈴木》

〈資料 2 に基づき説明〉

〈質疑等〉

【神家満委員】設定する項目について、現状で決まっているものはあるか。

【事務局】既設事業について市役所各部に照会を行い現計画における現状や課題を精査し、集約するものを検討したいと考えている。現状は未定である。

ウ 大芦川パトロールGW実施の結果について

事務局：《環境課 上田》

〈資料3に基づき説明〉

〈質疑等〉

【増淵委員】外国人への対応は困難と思うがどのように対応しているのか。

【事務局】グループで大芦川を訪れているが、たいていはグループ内に1名は日本で就労している日本語の話せる人物がおり、言葉が通じないケースは過去1件のみであった。

【神家満委員】全体で何名ほど来訪して何件ほど指導したのか。

【事務局】携帯電話位置情報を用いたデータによれば、令和2年時点で4.3万人の来訪者がいた。令和3年3.2万人、令和4年3.1万人、令和5年2.9万人、パトロールを開始した昨年は1.9万人と減少傾向にある。大芦川の自然を享受するという行楽ニーズ自体は否定されるものではない。来訪者数推移を見るとパトロールのみで削減できるフェーズは過ぎていると思われる。これまでは規制強化に重きを置いてきたが大芦川を観光資源と捉え、来訪者を問題のないエリアに誘導し市経済の活性化に繋げる努力も必要かと思う。

【浜野委員】外国人を含め来訪者はどこからの来訪が多いのか。

【事務局】正確なデータはないが、ナンバーや聞き取りした情報では、茨城県が多く次いで埼玉県と続き近隣県からの来訪が多い。外国人はスリランカ、パキスタン、アフガニスタン、トルコ、インドネシア、イラン等からの来訪が多い。それらの出身者で近隣の就労者が家族を連れて来訪するパターンも多い。

【廣田委員】ミニクリーンについて、捨てやすい場所等何件も同じ場所に投棄されている等はあるのか。対策はどうしているのか。

【事務局】下沢付近の退避所等に投棄されているという情報はあるが、具体的な情報はない。西大芦小跡地駐車場やちびっこ広場等は地元主導でゴミ拾いしている。

エ 「盛土等規制法」の施行に伴う実績報告について

事務局：《環境課 上田》

〈資料4に基づき説明〉

〈質疑〉なし

(3) その他

〈質疑〉なし

令和 7 年度第 1 回環境審議会次第

日時 令和7年8月7日(木)

午後 2 時から

会 場 鹿沼市役所 2 階 第 2 委員会室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 報告事項

ア 第5次鹿沼市環境基本計画の令和6年度実績について

資料 1

イ 第6次鹿沼市環境基本計画等の策定について

資料 2

ウ 大芦川パトロールGW実施の結果について

資料 3

エ 盛土規制法に関する状況報告について

資料 4

(2) その他

5 閉 会

[illegible]

環境審議会委員名簿

R7. 4. 1 から

No.	氏 名	委員区分	所属等	備考
1	鈴木 節 也	(1)市民	鹿 沼 市 自 治 会 連 合 会	
2	廣 田 稔	(1)市民	きれいなまちづくり推進員 協議会	
3	原 恵 子	(1)市民	エコネットかぬま代表	
4	松 島 良 子	(1)市民	公 募 委 員	
5	森 忍	(1)市民	公 募 委 員	
6	神 家 満 晃	(1)市民	公 募 委 員	
7	増 渕 靖 弘	(2)市議会の議員	鹿 沼 市 議 会	
8	関 谷 夕 香	(3) 関係行政機関 の職員	栃木県県西環境森林事務所 環境部長	新
9	櫻 井 忠	(3) 関係行政機関 の職員	栃木県上都賀農業振興事務 所次長兼企画振興部長	新
10	浜 野 勝	(3) 関係行政機関 の職員	栃木県鹿沼土木事務所次長 兼企画調査部長	
11	高 橋 雅 則	(3) 関係行政機関 の職員	鹿 沼 市 小 中 学 校 長 会 石 川 小 学 校 長	
12	橋 本 公 之	(4) 学識経験を有 する者	鹿 沼 商 工 会 議 所	
13	小 太 刀 亨	(4) 学識経験を有 する者	鹿沼工業団地総合管理協会	
14	神 山 義 一	(4) 学識経験を有 する者	栗 野 森 林 組 合	
15	渡 邊 知 義	(4) 学識経験を有 する者	鹿 沼 自 然 観 察 会	

(注) 委員区分は、鹿沼市環境基本条例第26条第4項各号による。

第5次鹿沼市環境基本計画の数値目標 R6実績報告

資料1-1

大項目1 ゼロカーボンのまちを作る

中項目① 温室効果ガスの排出削減					
小項目	数値目標の項目	令和2年度の現状値	令和5年度実績	令和6年度実績	令和8年度目標
1-①-(1) 温室効果ガスの排出削減	低炭素建築物及び長期優良住宅の認定申請率	12.3%	21.4%	32.6%	13.8%
	リーバス1便当たりの利用者数	5.1人	4.7人	4.3人	6人
	予約バス1便当たりの利用者数	1.4人	1.4人	1.4人	3人
1-①-(2) 省資源・省エネルギーの推進	エコライフコンテスト参加者	201人	2年累計525人	3年累計842人	5年累計750人
	住宅リフォームに対する支援	累計495件	2年累計660件	3年累計790件	5年累計745件
	新設時のLED防犯灯導入率	100%	100%	100%	100%
1-①-(3) 再生可能エネルギーの利活用	ZEH基準対応住宅建築への支援	—	2年累計44件	3年累計70件	5年累計100件
	再生可能エネルギー設備等の導入に対する支援	累計2,818件	累計3,116件	累計3,248件	累計3,720件
1-①-(4) 温室効果ガスの吸収源対策	森林経営計画における新規認定計画面積	年間421ha	2年累計6,706ha	3年累計7,746ha	5年累計12,000ha
1-①総括目標	市全域からの温室効果ガス排出量	722,154t-CO ₂ (H30実績)	713,000t-CO ₂ (R3実績)	707,000t-CO ₂ (R4実績)	539,531t-CO ₂
	二酸化炭素排出量の削減率 (市全域) H25年度830,048ト	H25年度比 13.3%	H25年度比 14.1%	H25年度比 14.8%	H25年度比 35.0%
中項目② 市の公共機関としての率先行動					
1-②-(1) 再生可能エネルギーの導入	クリーンエネルギー公用車の導入	20台	20台	19台	増加
	公共施設への再生可能エネルギー設備の設置	累計6カ所	累計7カ所	累計8カ所	累計8カ所
1-②-(2) 省資源・省エネルギーの取組	電気使用量の削減	11,229t-CO ₂	10,054t-CO ₂	11,475t-CO ₂	7,694t-CO ₂
	用紙使用量の削減	44t-CO ₂	39t-CO ₂	38t-CO ₂	25t-CO ₂
	公共施設における燃やすごみ排出量の削減	44.5t-CO ₂	63.4t-CO ₂	53.9t-CO ₂	42.7t-CO ₂
1-②総括目標	市公共施設からの温室効果ガス排出量	29,127t-CO ₂	31,886t-CO ₂	29,787t-CO ₂	25,346t-CO ₂

大項目2 持続可能なまちを作る

中項目① 3Rの推進					
小項目	数値目標の項目	令和2年度の現状値	令和5年度実績	令和6年度実績	令和8年度目標
2-①-(1) ごみの排出抑制	ごみの減量に向けた出前講座実施数	—	年3回	年1回	年4回
	小学生を対象にした施設見学会の実施	22校	21校	23校	全24校
	ごみの総排出量	32,040 t	28,256 t	28,002 t	30,438 t
2-①-(2) 資源の再利用・ リサイクルの推進	燃やすごみの総排出量	25,775 t	23,538 t	23,503 t	24,486 t
	堆肥化センターにおける搬入処理量（家畜排せつ物、木くず、もみ殻等）	11,123 t	9,266 t	9,279 t	19,175 t
	生ごみ処理機等の設置に対する支援	累計9,289件	累計9,366件	累計9,425件	累計9,420件
	リユース品の販売（リサイクル品等の販売実績）	—	2年累計44件	3年累計112件	5年累計100件
	官公庁オークションへの参加	1回	1回	1回	1回/年
	空き家バンク登録件数	5件/年	24件/年	28件/年	5件/年
2-①-(3) ごみ等の適正処理	ごみステーションの新設・統合・廃止	—	新設20件 統合・廃止0件	新設11件 統合・廃止2件	—
	搬入ごみの検査回収	年3回	随時	随時	年4回
2-①総括目標	1人1日当たりのごみの排出量	926 g	845 g	846g	903 g
	資源ごみのリサイクル率	12.90%	12.60%	12.20%	14.15%
中項目② 水循環の保全					
2-②-(1) 水資源の保全と有効利用	水道漏水個所の調査	350km	2年累計737km	3年累計1,035km	5年累計2,000km
	水道老朽管の更新	2,842m	2年累計14,563m	3年累計20,558m	5年累計8,400m
2-②-(2) 生活排水等の適正処理	汚水処理普及率	88.3%	91.2%	92.6%	91.9%

大項目3 自然と寄り添うまちをつくる

中項目① 自然環境の保全					
小項目	数値目標の項目	令和2年度の現状値	令和5年度実績	令和6年度実績	令和8年度目標
3-①-(1) 自然環境に配慮した生産活動	環境保全型農業の取組面積	970a	1,239a	1,542 a	970a
	農業・農村多面的機能の維持・発揮に係る団体数	27団体	34団体	35団体	28団体
	農地リニューアル事業による耕作放棄地解消面積	1.5ha/年	2.6ha/年	2.6ha/年	3.6ha/年
3-①-(2)	鹿沼市動植物リストの改訂	1回	—	—	1回
生物多様性の保全	生きもの観察会	129人	2年累計678人	3年累計789人	5年累計500人
中項目② 生活環境の保全					
3-②-(1) 自然と調和した住環境づくり	子育て世帯による「子育て支援の充実」の満足度	29.6%	25.1%	—	32.0%
	赤ちゃんふれあい体験交流事業による子育てへの関心の向上度	—	79.0%	60.0%	80.0%
	待機児童数	0人	0人	0人	0人
	市民参加による森林保全活動	23か所	2年累計24か所	3年累計24か所	5年累計25か所
	有害鳥獣（イノシシ）の捕獲	1,368頭/年	805頭/年	948頭/年	1,500頭/年
3-②-(2) 公害等の防止	①大気中の有害物質の常時測定 ②光化学スモッグ注意報発令件数 ③野焼き発生時の苦情対応・指導	—	①…1箇所 ②…2件 ③… 31件	①…1箇所 ②…0件 ③… 25件	—
	土採取事業や土砂等の埋立等に対する規制・監視及び指導件数	—	86件	56件	—
	①交通量の多い道路の測定 ②騒音・振動の苦情対応・指導	—	①…3箇所 ②… 15件	①…3箇所 ②… 19件	—
	悪臭の苦情対応、指導	—	13か所	5か所	—
	空間放射線量測定器の貸出し	—	1件	0件	—
3-②-(3) 不法投棄の防止	①不法投棄パトロール実施数 ②監視カメラの設置 ③不法投棄の苦情対応、指導	—	①15回 ②2か所 ③7件	①15回 ②3か所 ③10件	①43回
	クリーン鹿沼実施箇所数	20か所	24か所	13か所	34か所
	農業用廃プラスチック回収場所の設置	3回/年	2回/年	3回/年	3回/年

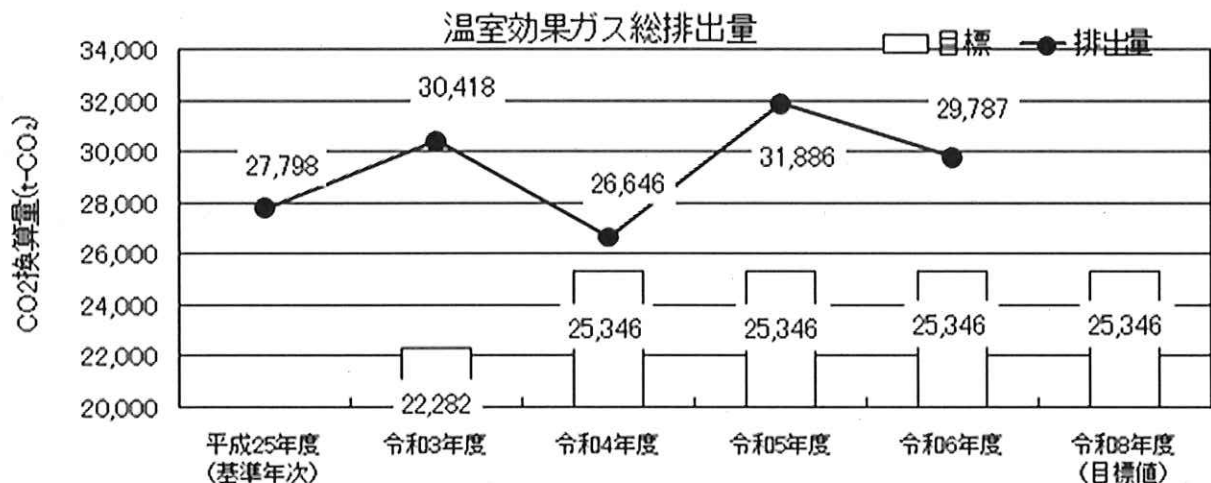
大項目4 自ら行動するまちをつくる

中項目① 次世代につなぐ人づくり					
小項目	数値目標の項目	令和2年度の現状値	令和5年度実績	令和6年度実績	令和8年度目標
4-①-(1) 市民への環境教育の充実	環境学習講座（基本講座）の開催数	－	1回	0回	3回/年
	地域環境学習講座の開催地区	－	2年累計5地区	3年累計5地区	5年累計17地区
	広報紙への環境特集記事掲載	2ページ/年	2ページ/年	2ページ/年	2ページ/年
4-①-(2) 子どもたちへの環境教育の充実	夏休み特別講座の参加者数	92人	2年累計272人	3年累計427人	5年累計500人
	林業・木工体験事業の開催数	2回	12回	13回/年	4回/年
	緑化推進コンクールの応募者数	0点	582点	704点	200点
	コミュニティスクールの導入校数	5校	34校	34校	34校
	森の教室の開催数	3回	3回	3回	3回/年
	環境学習副読本の活用実績	47%	20%	－	70%
	いちごっこ広場利用者数	18,714人	32,632人	32,665人	30,000人
中項目② 気候変動への対応					
4-②-(1) 自然災害への備え	防災アプリの登録者数	4,500件	累計8,021件	累計9,026件	累計10,000人
	自主防災会設立組織率	81.1%	94.6%	95.9%	100%
	自治会等コミュニティ活動への参加率	52.9% (R3)	44.3%	－	53.3% (R7)
	消防団充足率	95%	95%	92.6%	95%
	防災士登録者数	126名	累計265名	累計320名	累計420名
	コミュニティセンター（避難所）における非常用電源整備	2か所	累計3か所	累計3か所	累計3か所
	学校施設（避難所）の改修と長寿命化	－	2校	0校	4校
	消防施設における非常用電源確保	－	0件	1件	各署1機
4-②-(2) 健康被害への備え	熱中症防止に向けた普及啓発 （市ホームページ等を活用した広報）	－	2回/年	4回/年	2回/年
4-②-(3) 農林業被害への備え	担い手への農地集積率	45.4%	48.7%	52.5%	51.4%
中項目③ きれいなまちづくりの推進					
4-③-(1) きれいなまちづくり運動	きれいなまちづくり推進協議会の設置	全17地区	推進員数230名	全17地区	全17地区
	環境美化の日における一斉清掃	2回/年	2回/年	1回/年	2回/年

地球温暖化対策実行計画の令和6年度実績について

1 市の事業者としての削減目標

令和6年度の温室効果ガスの総排出量は、29,787トン-CO₂と、基準年次(平成25年度)からは1,989トン-CO₂、7.15パーセントの温室効果ガス排出量が増加しました。



		基準年次 (H25)	R3	R4	R5	R6	目標年次 R8
目標排出量(t)		—	22,852	25,346	25,346	25,346	25,346
実績	排出量(t)	27,798	30,418	26,646	31,886	29,787	—
	目標との差	—	8,136	1,300	6,540	4,441	—
	対基準年次 増減量(t)	—	2,620	▲1,152	4,088	1,989	—
	対前年度 増減率(%)	—	4.4	▲12.4	14.7	7.1	—

電気使用量及び廃棄物等の焼却による温室効果ガス排出量内訳

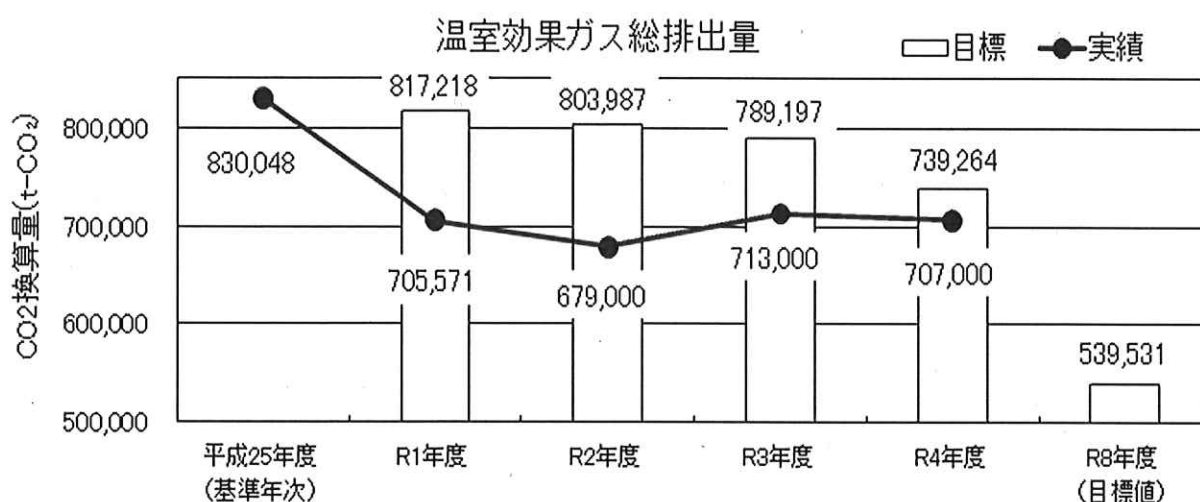
	R3	R4	R5	R6	R6温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)
電気使用量(kWh)	25,780,915	26,166,898	27,738,835	25,029,153	1,138
一般廃棄物(t)	26,348	26,582	18,596	19,263	289
廃棄プラスチック(t)	5,243	3,832	6,534	4,906	13,566

※排出量の算定にあたっては、令和2年に環境省が地方公共団体実行計画(事務事業編)における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を目的とした新たな算定システム「通称 LAPSS」を開発したため、このシステムに基づき算出することとしました。

2 市全域としての削減目標

温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)

環境省の作成した地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(算定手法編)により、令和4年度の温室効果ガスの総排出量は、707,000トン-CO₂と算定されました。



		基準年次 (H25)	R1	R2	R3	R4	目標値 R8
目標排出量		—	817,218	803,987	789,197	739,264	539,531
実績	排出量(t)	830,048	705,571	679,000	713,000	707,000	—
	目標との差	—	▲111,647	▲124,987	▲76,197	▲32,264	—
	対基準年次 増減量(t)	—	▲124,477	▲151,048	▲117,048	▲123,048	—
	増減率(%)	—	▲2.2	▲3.7	5.0	▲0.8	—

※ 排出量の算定にあたっては、環境省が全国統一的に把握するための標準的手法である「部門別排出量の現況推計」及び「自治体排出量カルテ」の数値を用いています。

排出量算定の基礎となる自治体排出量カルテについては、国の確定値公表までに2年程度の期間を要します。

第 6 次環境基本計画等の策定について

1 環境基本計画とは

環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「鹿沼市環境基本条例」に基づき平成 12 年に策定された。市内各地域ごとの環境課題及びその解決のための行動指針を設定した「地域別環境配慮行動計画」を定める等、当初は環境保全に関する計画であった。しかし、地球温暖化の進行等に伴い、求められる施策が増え、次に掲げる計画も含まれることとなった。

(1) 地球温暖化対策実行計画

温室効果ガス排出量を削減するための「緩和策」の計画

(2) 気候変動適応計画 ※第 5 次計画から追加

すでに生じている気候変動による被害の回避・軽減を図る「適応策」を記載する計画

2 第 5 次環境基本計画で生じた課題について

(1) 掲載事業について

現計画は、各施策にかかる事業とその事業ごとの目標を計画本体に記載している。しかし、特に脱炭素施策においては、国の制度や行政への要求事項の変化が激しく、そのたびに時勢に応じた事業を行っていくことが重要であるが、計画に記載された事業内容や目標の修正には計画の変更が必要である。

⇒事業メニューの弾力性の確保

(2) 事業の選定及び目標設定

現計画においては、基本計画になじまない事業選定や目標値の設定がされていた。

⇒計画目標に資する事業及び K P I の設定

3. 課題を踏まえた第 6 次環境基本計画の方向性について

(1) 策定の視点

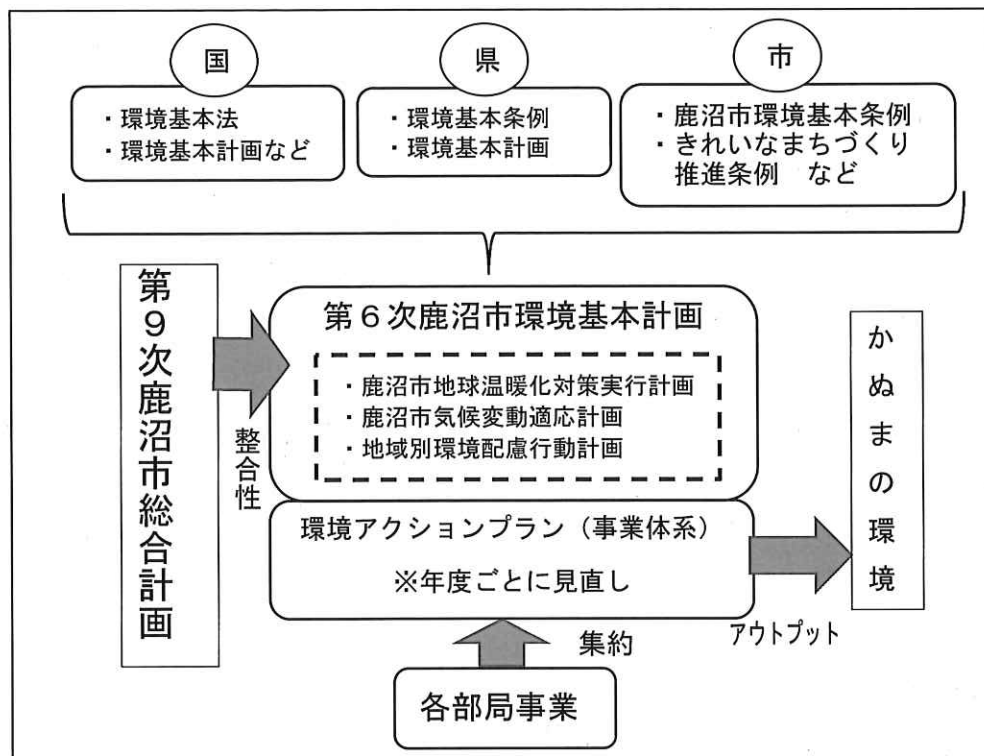
- ア 5 年後に目指す将来像を明確に設定し、目標と現状の差を埋める内容を検討する。
- イ 計画の方向性とフィットした事業及び目標を設定する。
- ウ 第 9 次総合計画との整合性を図る。
- エ 脱炭素検討組織での検討内容について包含する。

(2) 計画期間

令和 9 年から令和 13 年度までの 5 年間とする。

(3) 計画の構成

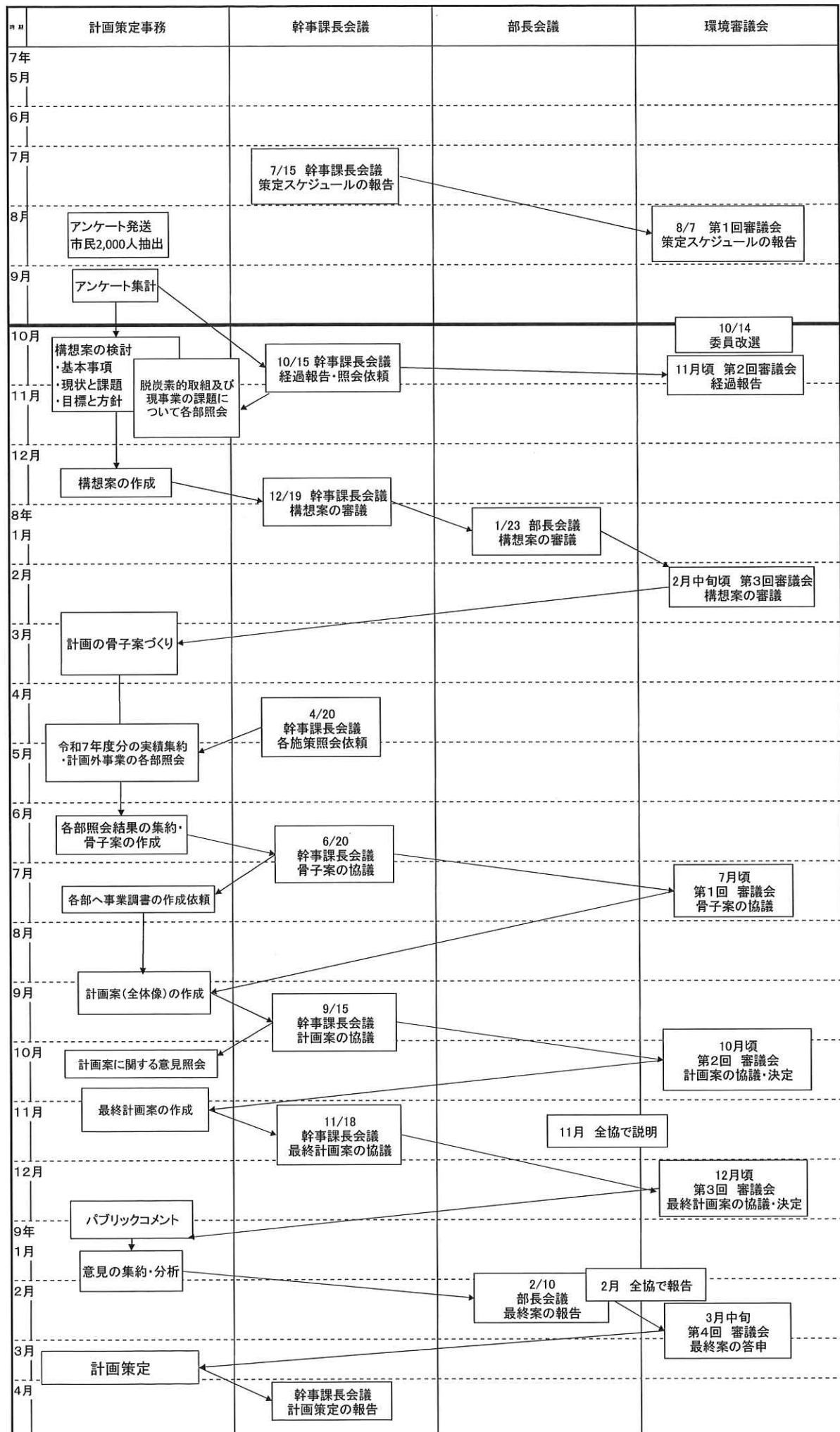
各事業メニューについて弾力的な追加修正を可能とするため、総論となる「環境基本計画」と計画に基づく事業体系集となる「環境アクションプラン」の2段構成で策定し、アクションプランについては、年度ごとに見直しを計る。



(4) 今後の策定行程及び各フェーズの内容

時期	作成物	内容	審議会
R 7 年 1 0 月	調査報告書	市民アンケートの結果報告	令和 7 年度 第 2 回
1 2 月 ・ 1 月	構想案	前計画総評と今回計画の目標や 作成方針案	令和 7 年度 第 3 回
令和 7 年 6 月	骨子案	①章立て等構成案の提示 ②4 か年分の実績を集約分析し、 施策案を提案	令和 8 年度 第 1 回
9 月	計画案	①気象庁データ等収集し、現状分析 資料として記載 ②地区別環境配慮行動計画等を 内包 ③各部より提出された事業調書を 基にアクションプランを記載	令和 8 年度 第 2 回
1 1 月	最終 計画案	パブリックコメント前の最終案	令和 8 年度 第 3 回
R 9 年 2 月	最終案	パブリックコメントを経た計画完 成前の提案内容	令和 8 年度 第 4 回

第6次鹿沼市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画及び気候変動適応計画策定スケジュール



大芦川環境保全パトロールの実績報告について

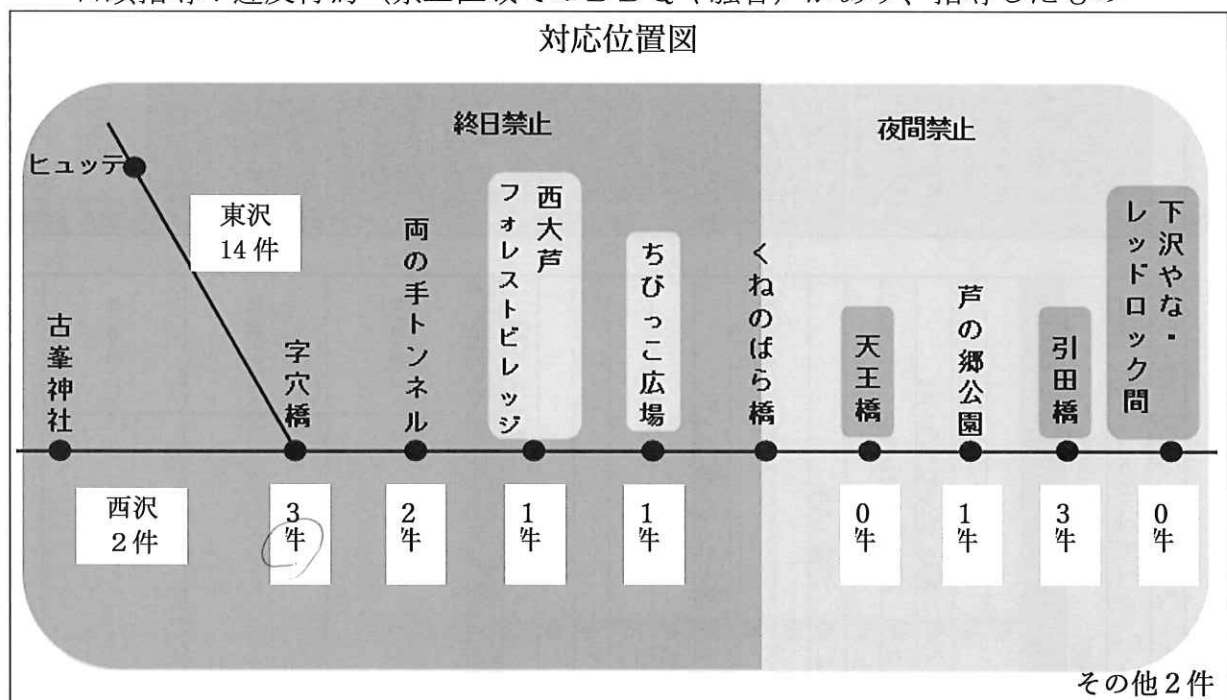
鹿沼市環境部環境課

1 ゴールデンウィーク中のパトロール結果について

令和7年4月26日（土）～5月6日（火）の土日祝日にパトロールを実施した。

		R 6	R 7
パトロール日数		4 日	7 日
声 か け	周知等	3 5 件	2 5 件
	口頭指導（1回目）	2 8 件	4 件
	口頭指導（2回目）	0 件	0 件
	勧告	0 件	0 件
	過料徴収	0 件	0 件
声かけ合計		6 3 件	2 9 件

周知等：違反行為は無く、ごみの持ち帰りやBBQ可能場所の案内をしたもの
口頭指導：違反行為（禁止区域でのBBQや騒音）があり、指導したもの



2 西大芦、東大芦地区のミニクリーン鹿沼事業について

不法投棄解消のため地域住民・管理者・行政などが協働して実施している事業

地区	R 5		R 6	
	件数	重量 (k g)	件数	重量 (k g)
東大芦	1 5	5 3 0	4	2 1 0
西大芦	1 2	2, 1 2 0	4	3 7 0
合 計	2 7	2, 6 5 0	8	5 8 0

盛土規制法に関する実績報告について

鹿沼市環境部環境課

1 盛土規制法運用までの経緯

年月	経緯
平成11年 9月	土砂条例の施行 (500～3,000 m ² 未満を本市が規制)
平成24年 4月	栃木県土砂条例の適用除外 (3,000 m ² 以上も本市が規制)
平成25年 7月	土採取条例の施行
令和 5年 5月	盛土規制法の公布
令和 5年10月	土砂条例への県外土砂及び改良土の使用を禁止する旨の条例改正
令和 6年 5月	令和6年度第1回環境審議会 宅地造成及び特定盛土等規制法の施行に伴う関係事務における規制の見直しについて
令和 6年11月	令和6年度第2回環境審議会 盛土規制法の施行に伴い関連する本市の規制を見直すためのパブリックコメント実施の承認
令和 6年12月	12月1日～令和7年1月1日 パブリックコメントの実施
令和 7年 4月	栃木県で盛土規制法の運用開始

2 実績について

施行後、県の盛土規制法に絡んだ実績はなし。

3 土砂関連の許可等について

(1) 土砂条例許可

	R 5		R 6	
	件数	許可面積 (m ²)	件数	許可面積 (m ²)
新規	56	345,875	29	178,460
変更	15		7	
合 計	71	345,875	36	178,460

(2) 土採取規制条例許可

	R 5		R 6	
	件数	許可面積 (m ²)	件数	許可面積 (m ²)
新規	30	251,779	27	240,619
変更	20		21	
合 計	50	251,779	48	240,619